

# 事業評価調書

## ◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	20895	
事業名	都市林等管理費						
評価担当課	所属名	建)みどりの推 みどりの管理課					
	課長名	高本 俊	担当者名	久保 文香	電話番号	011-211-2522	
施策名	主	-					
	副						
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外			
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	草刈や倒木処理など維持管理を実施し、安全で快適な環境を維持するとともに、民有林を含めた森林の森林整備の推進と保全を図っていく。				
		長期	都市環境林や保存樹木・並木を良好に管理することにより、健全なみどりの保全に努める。				
	取組内容	都市近郊の自然環境の保全・活用などを目的とした都市環境林等の草刈・倒木処理等の維持管理のほか、森林ボランティア団体への活動支援などを行う。また、森林経営管理法に基づく森林所有者の意向調査等を行う。					
	実施結果	都市環境林等の樹林地、自然歩道や保存樹木などの巡視や施設の点検等により、適正な維持管理や施設の安全確保に努めた。森林の多面的機能発揮のため、白旗山都市環境林において、森林の調査や間伐、植林などの保育作業を実施した。さらに、森林経営管理法に基づき、経営管理実施権配分計画を策定し、私有林の経営管理権を事業者へ再委託した。					
事業実施における工夫点	市民ニーズや現況把握のため、職員自ら現地確認を積極的に実施するとともに、委託業務により効率的な維持管理を行った。						
対象者	市民、施設利用者、事業者			開始	平成27年度	終了	0年度
関連法令・条例・要綱等	都市緑地法、森林法、都市の美観風致を維持するための樹木の保存に関する法律、森林経営管理法、札幌市緑の保全と創出に関する条例等						
他都市の状況	多くの自治体において、類似の事業を行なっている。						

## ◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	139,176	156,299	136,718	152,071	
うち特定財源	19,712	21,726	21,395	21,110	
人工	6.2	6.7	6.7	5.4	
人件費	44,640	48,240	48,240	38,880	
計(事業費+人件費)	183,816	204,539	184,958	190,951	
事業費の内訳	令和3年度決算	都市環境林等の維持管理:都市環境林60,264千円、市民の森24,367千円、自然歩道16,565千円、特別緑地保全地区9,518千円、ダム園地9,088千円、保存樹木1,373千円、森林経営管理法関係4,337千円(枠外 森林環境譲与税)、その他11,206千円			
	令和4年度予算	都市環境林等の維持管理:都市環境林58,101千円、市民の森25,399千円、自然歩道14,792千円、特別緑地保全地区9,681千円、ダム園地11,230千円、保存樹木等1,950千円、森林経営管理法関係14,394千円(枠外 森林環境譲与税)、(仮)森林基本方針策定2,735千円(枠外 森林環境譲与税)、その他13,789千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	白旗山都市環境林での自然観察会実施回数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	14回	5回	5回	10回	
活動指標2	指標名	無断伐採指導件数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	1件	1件	3件	1件	
成果指標1	指標名	ふれあいの森の利用者数			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	19,000人	20,000人	19,000人	21,000人	
成果指標2	指標名	無断伐採是正件数			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	1件	1件	3件	1件	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	都市環境林や市民の森及び自然歩道の施設を適切に維持管理し、市民が身近に自然とふれあうことのできる環境を整備することで、事業目標を達成できた。また、市有林の間伐や植林を実施し、森林の多面的機能の発揮に寄与した。私有林については、小別沢地区で経営管理実施権配分計画を策定し、林業事業者に森林の経営管理の再委託を行った。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	都市環境林において人工林の間伐を進めているほか、老朽化等した施設の修繕等も実施しており、事業量として適切である。しかし、白旗山都市環境林の管理運営については、今後策定する「札幌市森づくり基本方針」に基づいて、効率化等を図りながら拠点機能強化を図っていく必要があると考える。また、森林経営管理法に基づく経営管理実施権配分計画を北海道で初めて策定し、事業規模として適正と言える。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	森林の公益的機能を保ちつつ、都市環境林等の広範囲の森林を維持管理するためには、森林整備や樹木の維持管理についての専門的知識と技術をもつ森林組合や造園業者への委託は適切である。また、対象範囲が膨大な私有林の人工林調査についても、業務の効率性から委託により実施することが適切である。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	自然歩道や市民の森、都市環境林等の維持管理において、利用者ニーズに応えることができたと言える。今後も安全性の確保のため、老朽化した施設の補修・更新を適宜行っていくことが必要である。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input type="checkbox"/> 回答 <input checked="" type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	森林の多面的機能の発揮に向けて、間伐等の森林整備を実施する必要があるほか、森林に関する施策を効率的、計画的に進める必要がある。また、意向調査を実施した私有林について、早期に現況調査を実施し、経営管理権集積計画の策定を進める必要がある。				
前回の評価	● A      ○ B      ○ C      ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし			見直し効果額 (前年度)	0 千円
今回の評価	● A      ○ B      ○ C      ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	市民ニーズの把握に努めながら、都市環境林等の効果的・効率的な維持管理及び施設の更新を進めることができた。また、森林経営管理法に基づく経営管理実施権配分計画を策定し、民有林の整備を推進することができた。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 引き続き都市環境林等の良好な維持管理及び施設の補修・更新を行う。			
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 現在の維持管理水準を維持するために必要な予算を確保する。			見直し効果額